大好き！絵本

初瀬　恵美

ご入園・ご進級
おめでとう　ございます

『あまがえるの
かくれんぼ』

作：たてのひろし
絵：かわしまはるこ
出版社：世界文化社

新入園児さんが通い始めた日、畑に虫捕りに行くと、大きなひきガエルを見つけた子ども達。一緒にいた職員の話を聞くと「板の下にいて、見つけたときは動かなくて、冬眠しているようでした！網の棒でつついたら、ようやく、動き始めました（笑）」とのこと。今年は、暖かくなるのが遅かったから、ゆっくり寝ていたのかもしれませんね。

今では、元気にカエルの鳴き声がひびいています。

さて、今回はカエルにちなんで**『あまがえるの　かくれんぼ』**を紹介したいと思います。

主人公はあまがえるの**ラッタ、チモ、アルノー**。3匹は仲良し。今日もかくれんぼをして遊びはじめました。ところが、楽しく遊んでいたはずが、ラッタの体の色が急に黒っぽくなり始めました。気がつくと、チモとアルノーの体の色も変わってききたのです。水で体を洗っても、草でこすっても色は落ちません。3びきは、不安で泣き出してしまいました。そのとき、サギが食べるものを探してやってきました。地面に縮こまった3びき。地面の色と同じだったので、サギに見つからずに済みました。喜んで、草むらに戻ると、体もいつの間にかもとの緑色へともどり、**「ぼくたち、からだの　いろが　かわるんだ！」**と大喜びし、またかくれんぼの続きをはじめる、というお話しです。

みなさんは、アマガエルの体の色がかわることをご存知でしたか？私の実家の周りは田んぼや小川が多かったので、日常的にいろんなカエルが沢山いました。その中で色が変わるアマガエルは、おもしろいなーと思って大好きでよく見ていました。しかし、大きくならないと体の色は変化しない（カエルになったばかりでは変化しない）ということは、全く知りませんでした。

このような科学ファンタジーが盛り込まれた絵本。カエル目線で世界が描かれています。その絵は透明感あふれるきれいな水彩画で、なんとも素敵な絵本です。絵を描かれているかわしまさんは、実際にアマガエルが大好きで、もう何年も飼育されていると「あとがき」に書かれていました。だからこそ、絵本の中の「3びきのあまがえる」さんたちは、愛らしく、躍動的に、素敵に描かれているんだな～と感じました。

この絵本は3部作となっていて他に**『あまがえるの　ぼうけん』『あまがえるの　たんじょう』**があるそうです。私はまだ見たことがありませんが、そちらの方もとても気になります。特に『あまがえるの　たんじょう』では、3びきのあまがえるの、誕生が描かれているそうですよ。

ぜひ、一度手にとられてみて、アマガエルさんたちの魅力にはまってみてください。